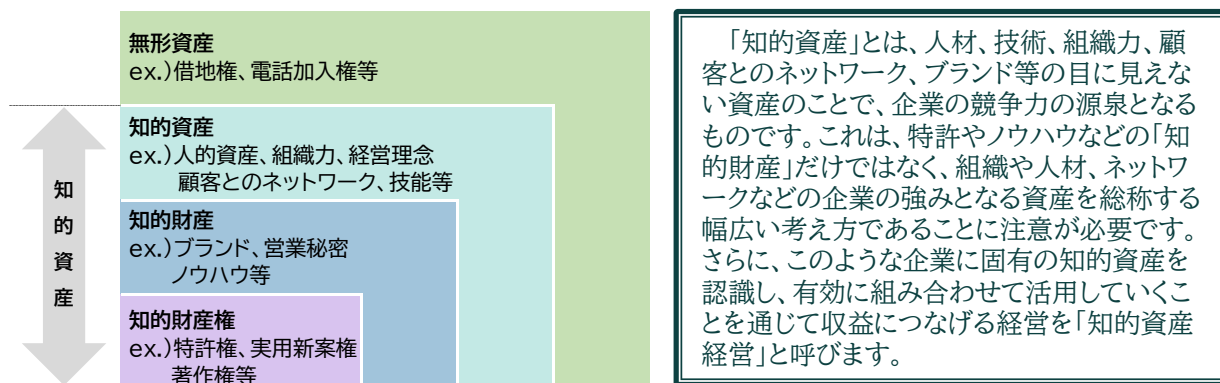




経営に役立つ知的財産の話 第5回 知的資産経営のすすめ

全5回シリーズでお伝えしてきた「経営に役立つ知的財産の話」は今回で最終回となります。今回は「知的資産経営」についてお伝えします。

下図は経済産業省のホームページに掲載されている、知的資産経営のイメージ図です。

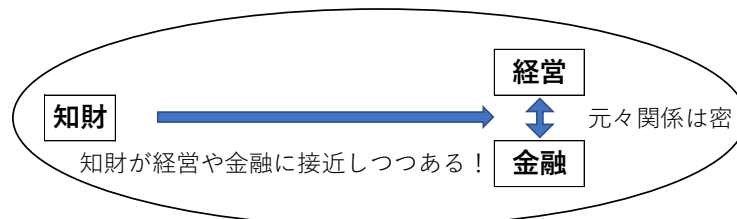


出所) 経済産業省ホームページ (<https://www.meti.go.jp>)

今まで4回にわたってお伝えしてきたことは、主に上図の左下の一番狭い範囲の知的財産権についてでした。これに対して経済産業省の推奨する知的資産経営とは、もっと広い意味での知的資産の活用を意味しており、目に見えない組織、人材、ネットワーク、そして知的財産を有効に活用して企業の成長に繋げていこうとするものです。

しばらく前までは、知的資産は特許権や著作権などの権利を主に意味していました。またこれに携わる社員は知財管理の専門職として見られて、経営方針の立案や情報提供等の経営中枢に関わることは少なかったと言えます。しかし、最近「IP ランドスケープ」と呼ばれる企業の成長のための知的資産の活用が注目されています。「IP ランドスケープ」は、知的資産を活用して企業を成長させるために、経営全体を見渡し成長戦略を考える事と受けとめられています。(IP とは Intellectual Property の略で知的資産を意味します。)

また、金融機関は企業の過去を調査分析してその企業を評価することは得意でしたが、今後の企業の成長性を見通すことはあまり得意ではありませんでした。しかし、従来の過去の決算書や担保、保証の他に、企業の保有する知的財産を用いて今後の事業の成長性を評価する「知財ビジネス評価書」の活用により、その企業の将来を評価しての事業資金の融資が最近行われるようになりました。



これらは、まだ十分に社会に浸透したものとは言えませんが、知財が成長のための経営計画の策定や融資の判断という実用的な用途に利用されつつある事は、今後とも注目していきたいところです。

当金庫が業務提携している INPIT では「IP ランドスケープ支援事業」として、経営・事業課題の掘り起こしや専門家による分析を行い報告会を実施していますので、興味のある方はお取引先店舗を通してお問い合わせください。

全国約7万社以上が加入
83金融機関が連携
大手企業1,500社以上が参加
(2022年6月末現在)

ぎふしん Big Advance が様々な経営課題を解決！

全国の金融機関と
連携して御社の
事業拡大をサポート！



サービス利用時間

システムメンテナンスの時間を除き、
全時間帯でご利用いただけます。

【メンテナンス時間】
毎週月曜日 22時～24時

基本料金
月額 3,300円 (税込)

※お支払いはクレジットカード
のみとなります。

初回入会月は
基本料金が無料

入会申込用QR



すばらしい明日をつくる

岐阜信用金庫

お問合せ先：お取引店舗までご連絡ください。

◎下記、岐阜信用金庫ホームページからもお申込みできます。

<https://www.gifushin.co.jp/>

令和4年8月1日現在